

## 地域自慢

# 民俗芸能を受け継ぐ我ら ～ 大野みろくばやし ～

水戸市立  
下大野小学校  
〈第5・6学年〉

私たちの下大野小学校には、「大野みろくばやし」という民俗芸能があります。昔、水戸光圀公が領内巡視の折、現水戸東大野の極楽橋にさしかかった時、馬が突然進まなくなりました。不思議に思っあたりを尋ねさせたところ、橋下に三体の人形を発見しました。これを拾い上げたところ馬が動きだし、無事巡視を続けることができたそうです。

そこで、この人形を大切にお祭りするよう下大野の人々に渡されました。これが「大野みろく」の由来と言われています。



### 〈水戸市小中学校 音楽のつどい〉

毎年、大野みろくばやしを取り入れた発表をしています。今年は、「故郷」(唱歌)と「ふるさと」(嵐)の2曲の合唱の間に「大野みろくばやし」を織り込んだ作品に取り組みました。



青い顔をして扇と幣束(へいそく)を持つ人形が「鹿島さま」、赤い顔をして太鼓とバチを持つのが「香取さま」、黄色の顔で扇とナンパンツツコを持つのが「春日さま」です。

### 〈6年生から5年生へ〉

総合的な学習の時間の一環として、人から人へ、手から手へと受け継いでいます。



### 〈地域施設との交流〉

学校に隣接する介護老人福祉施設の秋祭りで発表しました。大きな拍手をいただきました。



### 〈下大野地区敬老会〉

参加したおじいさん、おばあさんからたくさんの感謝のこぼれをいただきました。

### 〈風土記の丘ふるさとまつり〉

地域の方だけでなく、おまつりに来たたくさんの方に見ていただきました。自信ができました。ダイダラボウも喜んでくれたと思います。



### 〈地域交流三世代の集い〉

「住みよい下大野をつくる会」主催のお月見の会に参加しました。水戸高等特別支援学校の生徒や保存会のメンバーと協力しました。



### 〈市民センターまつり〉

学校で取り組んできたことの集大成として発表を行いました。1年前とは比べものにならないくらい上達した姿を見ることができました。

### 〈まとめ〉

民俗芸能は一度途絶えてしまうと、それを復活させることは非常に難しいと言われています。下大野小の一人一人が、そんな重要な役割を果たしていることに誇りと責任を持ち、これからも取り組んでいきたいと思ひます。